

<報道発表資料>

令和8年9月4日

京都市上下水道局総務部総務課

台南運河と琵琶湖疏水との交流促進及び協力に関する 覚書の締結

京都市上下水道局と台南市政府は、令和8年9月3日（木）に、台南運河と琵琶湖疏水との交流促進及び協力に関する覚書を締結しました。



覚書締結式の様子

（左から、
台南市台日文化友好交流基金会榮譽董事長 郭貞慧
台南市観光旅遊局長 林國華
台南市長 黃偉哲
京都市会議長 下村あきら
京都市上下水道局総務部担当部長 宮脇基良
京都市公営企業管理者上下水道局長 吉川雅則
京都市会議員 台南市榮譽市民 寺田一博）

● 覚書締結日

令和 8 年 9 月 3 日（木）

● 覚書の背景と目的

京都市と台南市は、令和 3 年（2021 年）6 月に、「交流推進協定」を締結し、今年で 5 周年を迎えます。

台南市の台南運河は、大正 15 年（1926 年）の建設以降、水上運輸の要衝として、台南市の経済的発展を支え、現在は、魅力あるウォーターフロント（波止場地区）として親しまれています。今年は、台南運河の運用開始 100 周年の年に当たります。

京都市の琵琶湖疏水もまた、明治 23 年（1890 年）の第 1 疏水の竣工以来、琵琶湖の豊かな水の恵みによって、京都の復興と近代化の礎となり、現在も多様な機能で、市民の皆様の暮らしと京都のまちの活動を支え続ける現役の都市基盤施設です。

今回の覚書の締結は、京都市と台南市の「交流推進協定」の締結から 5 周年、台南運河の建設から 100 周年を迎えることを機に、両市の「交流推進協定」による具体的な取組の一環として、琵琶湖疏水と台南運河の間で、交流・協力関係を築く覚書を締結し、琵琶湖疏水と台南運河の持続可能な発展はもとより、京都市と台南市のお互いの繁栄と友好の絆の強化に繋がるものとなることを目指すものです。

● 覚書の主な内容

以下の項目における協力を通じ、琵琶湖疏水と台南運河のブランドの向上、歴史的価値の発信及び運河の持続可能な発展に取り組むものです。

- ・ 運河の維持管理及び持続的な発展に向けた情報交換に関すること。
- ・ 文化遺産の保存及び活用に関すること。
- ・ 舟運の運営及び運河の活用についての交流に関すること。
- ・ ブランドの向上及び広報活動に関すること。

<お問合せ先>

京都市上下水道局総務部総務課

電話：075－672－7709